

保護者様

令和7年12月吉日  
横浜市立日吉南小学校  
校長 山中 真紀子

## 令和7年度 横浜市学力・学習状況調査 結果報告

令和7年5月、2～6年生を対象に、横浜市学力・学習状況調査が実施されました。調査は、前学年の学習内容になります。以下、本校における各学年の教科学習状況調査の正答率と、調査結果の概要・分析についてご報告させていただきます。

### 各学年の教科学習状況調査の正答率(%)

#### 2年生

	国語	算数
日吉南小	58.8	63.1
横浜市	56.1	57.6

#### 3年生

	国語	算数
日吉南小	65.7	69.9
横浜市	60.3	63.5

#### 4年生

	国語	算数	社会	理科
日吉南小	62.6	62.5	62.6	67.6
横浜市	57.4	56.6	59.1	61.9

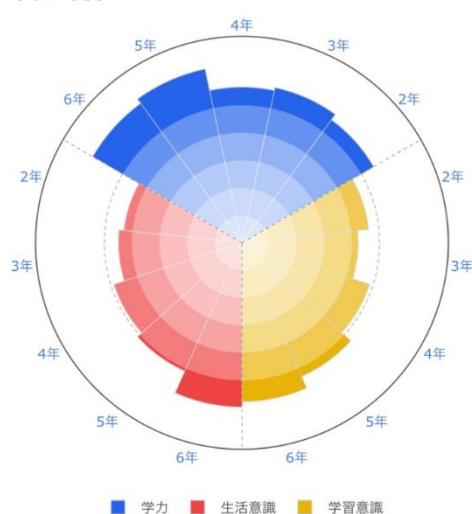
#### 5年生

	国語	算数	社会	理科
日吉南小	76.2	75.5	71.7	73.8
横浜市	68.0	65.1	61.2	61.8

#### 6年生

	国語	算数	社会	理科	外国語
日吉南小	68.5	78.7	69.4	63.8	89.1
横浜市	63.9	66.3	58.3	55.7	83.4

令和7年度



### 調査結果の概要

- 各教科の平均正答率は、全ての学年が横浜市の平均を上回っています。
- 生活・学習意識については、横浜市の平均程度である一方で、平均を下回ることもあります。

### 教科学習状況調査の結果から

どの学年も、全ての教科において横浜市の平均正答率を上回っています。特に、国語の説明的な文章や文学的な文章を読み取る「思考・判断・表現」、算数の「知識・技能」について、十分な力が身についています。理科や社会、外国語についても、どの領域・内容も、平均より高い正答率となっています。

本校では、教科担任制による指導、一人ひとりに合った指導などを充実させ、それによって、子どもたちが知識や技能をしっかりと獲得し、それらを活用した思考・判断・表現の力を身に付けられるよう、日々の学習を進めてきました。また、どの教科・領域でも、ICT機器を活用する機会をもち、様々な情報の中から必要なものを選んで考えをまとめたり、作品や発表資料を作ったりして、自らの課題を解決する学習を行っています。

また、友達と感想や意見を交流する活動『対話』を通して、一人では気付かなかったことに気付き考えを広げること、友達に共感してもらうことで自分の考えに自信をもつことも、大切にしています。

このような学習指導を教職員が連携して行うことで、子どもたちの力をのばすことができるよう努めていきます。

### 生活・学習意識調査の結果から

「学校での学習に進んで取り組んでいる」「学校や社会の決まりを守ることが大切」「友だちや家族との約束を守ることが大切」だと答えている児童が多く、決まりを守って、和やかに過ごしていきたいと考えていることが分かります。

「学校図書館に行くことが好き」と、全ての学年が高い割合で答えています。低学年は読書に時間を費やすことが多く、高学年になるほど、家庭学習の時間が増える傾向にあるという結果です。家庭学習の時間は、横浜市の平均を上回っています。本校の児童の教科学習の正答率の高さは、学習や読書に対する意識の高さともつながりがあると考えられます。

高学年になると、「自分の知っていることを結び付けながら考えるようにしている」「身の回りにあるいろいろなことに興味をもつ」「気になったことがあると、とことん調べたい」と答える児童も多く、好奇心や知識欲が高いことを示しています。

一方で、「自分と周りの友だち」や「社会や集団と自分との関わり」といった意識については、横浜市の平均を下回る部分もありました。子どもたちは、家族や友だち、様々な人々と関わりながら、考えたり、相手の考えを受け入れたり、自分で決めて行動したり、時には失敗したりと、実際に経験することで、学び、自信をもちます。

本校では、『仲間と伝え合うこと、話し合うこと、対話』を大切にして学習しています。今回の調査で、多くの児童が「言葉や文字などを使って、人と気持ちや意見をやりとりするのが好き」「自分の考えを相手に分かるように伝えようとしている」「自分の考えたやり方や理由をほかの人の意見も聞いて見つめ直している」と答

えていることから、一定の成果を見ることができます。また、地域や外部の方々から生きた「言葉」と「経験」を教えていただく『出前授業』の機会も設けています。このような取組が『社会や集団と関わりながら学び成長する～生きる力～』を育てると考えています。

また、子どもたちの心身の支えであるご家庭との連携も、引き続き大切にまいります。

ご家庭で、あたたかく見守りながらお子さんと同じ目標に向かって一緒に頑張り、学校を信頼して、「大丈夫だよ。」と声をかけ、お子さんの背中を押してくださることに感謝しております。今後とも引き続き、よろしくお願いいたします。